

「With コロナ時代における未来アイデア
応募用紙

○応募者
氏名・法人

・団体名 (法人・団体の場合)	
メールアドレス	
電話番号	

募集対象・応募資格適合への同意	<input checked="" type="checkbox"/> 同意します
暴力団関係者(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)に規定する暴力団をいう。)	<input checked="" type="checkbox"/> 該当しません

○応募内容

アイデア名	みんなで街の断捨離(その1)行列整理や場所取りはバーチャルで
-------	--------------------------------

提案の概要(200字以内)
拡張現実(AR)により、スマホやウェアラブル・グラス(眼鏡)をかざして行列整理のポールやチェーンをバーチャルで確認できるようにすれば、物理的なポールやチェーンは必要なくなる。花見や運動会の場所取りにも応用できる。

提案のきっかけ ※様式自由
密が気になる世の中であるが、都会は人以外にも全ての物が密集しゴチャゴチャしている。クリエイティブに新しいものを創造し付け足す前に、余計なものをなくしてスッキリできないものかと思う。部屋や家の断捨離という言葉が最近よく耳にするが、その延長で、みんなで街の断捨離に取り組む。可能なものはバーチャルにしまえば、街は今よりも随分スッキリし気持ちよくなると思う。

提案の狙い(実施することで解決される社会的課題または創出される価値) ※様式自由
景観的にプラスにならず、単に機能的に必要なものをバーチャルにすることにより、街の景観を改善できる。何より、街の景観を改善し守ろうとする意識が芽生える。 行列整理、場所取りをバーチャルにすることにより、無駄に並ばず、争わず、なにより密を避けることができる。バーチャルであるため、臨機応変にその時々で最適なソーシャル・ディスタンスを設定することもできる。

実現可能性や実現に必要な要素等 ※様式自由
GPS等を利用し、現実の風景にバーチャルな映像を重ねあわせる技術は既に様々なところで利用されている。AR(拡張現実)、位置情報マーケティング、Web予約システム等、既に存在している技術の組み合わせで実現可能と思われる。

提案の詳細 ※様式自由

混雑するようなお店やテーマパークの前には、行列を整理するために、チェーンにつながれたポール(ポールパーティション)が並べられているのを見かけます。ポールパーティションは混雑を整理するために必要なものであるが、景観的にはプラスにはならない。美術館の前とか、伝統的な寺院の前に並べられているのを見ると、悠久のロマンを感じている最中にいきなり現実に戻されるようで少しがっかりする。

拡張現実(AR)により、スマホやウェアラブル・グラス(眼鏡)をかざしてバーチャルなポールパーティションを確認できるようにすれば、物理的なパーティションは必要なくなる。景観を損なわなくて済むし、バーチャルなので行列が増えても直ぐに対応できる。その時々に応じて密を避けるための適切な距離感を臨機応変に設定することもできる。

花見や運動会の場所取りにも応用できる。場所取りには時間も労力も掛かるし、なんとなく不公平感が残る。事前に公平にバーチャルに場所取りができるようにすれば、無駄に並ばず争わずに済む。

予約システム上で、実際の花見や運動会の場所に合わせたゴザやシート用の区画図を用意し、予約できるようにする。当日現地で、何も敷かれてない、仕切られていない場所にスマホをかざすと、バーチャルな区画図が表示され、自分の予約したスペースを確認できる。拡張現実(AR)用のスマート・グラス(眼鏡)で対応できるようにすれば、よりスムーズに振舞える。

※ 各記入欄は適宜拡幅して構いません。

※ 様式自由となっている項目は、別ファイル(ワード又はPDF形式)で提出していただいても構いません。

※ その他、任意の参考資料も提出いただけます。

※ 応募いただいた時点で、上記内容(氏名、メールアドレス及び電話番号を除く応募用紙に記載されたすべての内容)の取扱いを県に一任するものとし、県が上記内容を第三者へ情報提供することに同意したものとします。